

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 財団法人 神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 小出 庄作

印刷 内村印刷株式会社

- 県身体障害者連合会と障害者社会参加推進センター…②
- 座間市障害者団体連合会のイベント紹介……………③
- 平塚市肢体障害者福祉協会の活動紹介……………③
- 県障害者スポーツ大会FD競技会場変更のお知らせ…④
- 肢体部会社会見学のご案内……………④
- さんぼみち(相模原市)……………⑤
- みんなの広場(南足柄市)……………⑤
- 俳句・川柳・短歌……………⑥
- 県身連事業予定(4月～7月)……………⑥
- 編集室から……………⑥

平成二十四年度事業計画並びに収支予算決まる

県身連の平成二十四年度事業計画と収支予算が、評議員会並びに理事会で承認可決されました。

平成二十四年度の事業予算額(管理費を除く)は、八千二百一十一万四千円で前年度予算と比較すると二千二百八十一万五千円の減少となつています。この主な理由は、小規模作業所緊急移行支援事業として補助金を交付してきましたが、二十三年度をもって事業が終了したためと社会参加推進センター事業運営委託費の削減によるものです。

今年度も、大変厳しい予算状況となりましたが、会員の皆様のご理解とご支援をいただきながら、効率的な事業展開に努めてまいります。

事業計画については、障害者の自立を支え、障害者の暮らしやすい共生社会の実現に向けて、次のような方針のもとに進めます。

第一に、障害者基本法に基づく障害者関連法案の施行・改正状況を十分に把握し、日本身体障害者団体連合会と連携し、情報の収集や要望事項の取りまとめを展開するとともに、県においても、差別禁止条例の制定に向けて働きかけを行う。

第二に、東日本大震災の発生を受け、障害者の方が被災した時の避難所における対応マニュアル作成や、

平成24年度神奈川県身体障害者連合会事業予算

No.	事業科目	本年度予算	増減
1	会議費	360,000	0
2	負担金	166,000	0
3	雑費	50,000	0
4	地域団体組織強化費	90,000	▲10,000
5	広報活動費	1,140,000	0
6	身体障害者福祉推進活動費	110,000	▲70,000
7	部会活動費	1,170,000	0
8	日身連大会等参加費	470,000	50,000
9	相談事業費	80,000	0
10	体育振興費	240,000	0
11	福祉大会費	1,216,000	▲134,000
12	小規模作業所緊急移行支援事業費	0	▲19,800,000
13	推進センター事業運営費	63,903,000	▲1,546,000
14	県障害者スポーツ大会開催費	2,313,000	78,000
15	全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣費	6,140,000	▲1,430,000
16	県障害者スポーツ振興協議会事務委託費	3,700,000	0
17	予備費	66,000	47,000
	合計(管理費を除く)	81,214,000	▲22,815,000

災害時の障害者への支援体制の充実を図るよう関係機関へ働きかけを行う。

第三に、組織並びに財政基盤の強化を図るため、地域団体と連携を強化し解決策を検討する。

第四に、県障害者社会参加推進センターの専門性を生かし、身体障害者・知的障害者・精神障害者に向けた事業の充実を図るとともに

に横浜市、川崎市とも連携を図る。第五に、身体障害者・知的障害者スポーツとともに、精神障害者ス

ポーツの推進や円滑な実施を図る。また、売店運営については、経費の節減を進めながら当連合会の自主財源の確保に努めるとともに、

予算の確かつ効率的な執行を図り、会員各位の自主的、積極的な参加のもとに法人の目的達成に努める。

なお、公益法人制度改革による公益法人の移行に向けて、平成二十五年十一月まで準備委員会をもって進める。

財団法人神奈川県身体障害者連合会と 神奈川県障害者社会参加推進センター

《財団法人神奈川県身体障害者連合会》

神奈川県身体障害者連合会(県身連)は、昭和三十年五月十五日に結成大会が開催され、創立されました。昭和四十五年十一月に法人化に向けた準備委員会が設置され、昭和四十七年二月の法人認可により、現在の財団法人神奈川県身体障害者連合会として活動を開始するとともに、この法人化に伴い事務所を社会福祉会館の一階に移転しました。昭和四十八年九月には、県身連の運営資金確保のため神奈川県総合リハビリテーションセンター内に売店を設置して収益事業を始め、昭和五十四年一月に現在発行されている「身障かながわ」の第一号を発行し、昭和五十九年十一月には県身連のシンボルマークを制定しました。平成五年に神奈川県身体障害者社会参加促進センター運営事業(現在の神奈川県障害者社会参加推進センター)を神奈川県より受託し、事業を推進しています。

県身連の事業は、大きく分けて自主活動事業・県補助事業・受託事業の三つに分かれています。自主活動事業としては、役員会(理事会・評議員会)の開催、身障かながわの発行、部会活動(肢体・視力・聴覚)の推進、日本身体障害者福祉大会等への参加、身体障害者相談事業、体育振興事業(富士登山・ボウリング大会)を行っていています。県補助事業としては、身体障害者福祉大会を毎年開催しています。受託事業としては、神奈川県障害者社会参加推進センター運営事業、神奈川県障害者スポーツ振興協議会事務、全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣等の業務を行っており、常勤・非常勤を合わせて十名の職員が事務分担して取り組んでいます。各事業の詳細については、ホームページや身障かながわで広報しております。

また、県身連が事務所を置いている県社会福祉会館には、様々な福祉団体が事務所を置いて活動しています。主な入居団体は次のとおりです。

神奈川県社会福祉会館入居団体



【1階】

神奈川県老人クラブ連合会、交通遺児家庭の会、ホームヘルプ協会、神奈川県福利協会、神奈川県医療福祉施設共同組合、神奈川県保育会、神奈川県保育士会、FCかながわ県肢協、心身障害児者父母の会連合会、肢体不自由児者父母の会連合会、神奈川県高齢者福祉施設協議会

【2階】

神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会

【3階】

神奈川県手をつなぐ育成会、神奈川県知的障害施設団体連合会、やまゆり知的障害児者生活サポート協会、神奈川県障害者地域作業所連絡協議会、神奈川県社会福祉士会、神奈川県地域生活定着支援センター

《神奈川県障害者社会参加推進センター》

神奈川県障害者社会参加推進センターは、平成五年に神奈川県身連の委託事業として県身連が受託し事業運営を行っております。当時は、神奈川県身体障害者社会参加促進センターとして受託していましたが、平成十一年に名称が変更され、現在の神奈川県障害者社会参加推進センターとなりました。社会参加推進センターという名称から建物を連想する方も多いためですが、この推進センターは事業の名称であり建物ではありませんので間違えないようにしてください。

推進センターは、身体障害、知的障害、精神障害の主な障害者団体で構成されており、この代表者を委員とした社会参加推進協議会を設置して事業内容を検討するとともに、障害別(身体・知的・精神)部会も開催しています。

主な事業内容としては、推進センターの広報・情報提供としてセンターだよりの発行・ホームページの公開、障害者や関係者を対象とした研修会の開催、生活訓練等事業として音声機能障害者発声訓練・オストメイト社会適応訓練・歩行訓練会の開催、普及啓発事業として障害に関するパンフレットの作成・人権メッセ展への参加協力・文化芸術祭の開催、スポーツ振興事業として県障害者スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会県選手団派遣・障害者スポーツ指導者等養成・障害者スポーツ教室・スポーツフェスティバルの開催等を実施しております。

座間市障害者団体連合会の イベント紹介

今回は、当団体主催の「ここ
にこフェスティバル」と言う催
しについて紹介します。

この催しは今から十一年前、
座間市に新しい座間市立総合福
祉センターが誕生したのを機に、
障害者が障害の垣根を越えて、
会員相互の親睦を深めることを
目的に開催することになりました。
た。

毎年十二月の第一日曜日、市
立総合福祉センターを会場に座
間市社会福祉協議会のご協力を
頂いて実施しています。内容と
しては毎回著名人の講演、コン
サート、お楽しみ抽選会、各種
模擬店、バザー、市内の障害者
地域作業所の自主製品販売など
を行っています。

では、昨年のにこにこフェス
ティバルについて紹介します。
昨年は、第十一回にこにこフェ
スティバルとして、
十二月四日に開催さ
れました。

主な内容は、午前の部では元

かたやまうきょう

Fレーサー片山右京氏の講演、
午後からはコンサート「名曲を
オカリナの調べにのせて」と題
して、視覚障害者のオカリナサ
ークル「ティアーモ」の皆さん
の演奏と歌で会場は盛り上がり、
楽しいひと時を過ごすことがで
きました。そして最後にお楽し
み抽選会があり、閉会となりました。

なお、今回も各種模擬店、バ
ザー、障害者地域作業所の自主
製品販売なども行いました。



平塚市肢体障害者

福祉協会の活動紹介

平塚市肢体障害者福祉協会（
平肢協）は活動を通して、社会
参加にチャレンジしています。
二月に「バルマーレワンダーラ
ンド2012」三月は「ルネッサン

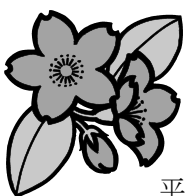


スマつり」が平塚市繁華街を会
場に行事が行われ、この機会を
捕らえ、協会運営資金の調達も
兼ねて毎年参加しています。こ
こでは二月十八日に行われた「
バルマーレワンダーランド2012」
について紹介します。

サッカーJ2で活躍している
湘南ベルマーレ選手とサポータ、
ボランティアが自由にふれあえ
る機会を設けようと、平塚市中
心商店街が主体となって行われ
ます。協会も商店街に設けられ
たボランティアブースの一画で

会員作製の手芸品販売、綿アメ、
ポップコーンの製造販売をし
ました。各ブースでは、商店やボ
ランティアがいろいろな商品を
販売し、お客さん呼び込んで
います。当方でも負けじと選
手に綿アメの製造をお願いし、お
客さん呼び込みとした選
手にサインをお願いするお客さん
が多く、急遽選手のサイン会場
となってしまった。綿アメは、
一つ百円で販売し、子供達が一
日中を通して買ってくれた。

二月二十五日は「ルネッサン
スマつり」があり、平塚市繁華
街を活性化するための行事です。
当協会も販売する手芸品を女性
部が一丸となり、各自ができる
範囲で協力し合って製作してい
ます。七月の七夕まつりで手芸
品販売を予定しています。お出
かけの際にはぜひ立ち寄って
ください。



平塚市

相原

貞雄



●**フライングディスク競技会**
 期日 六月二十四日(日)
 会場 海老名市役所西側催事広場

身障かながわ一月号でご案内いたしました、第六回県障害者スポーツ大会のフライングディスク競技会について、当初予定していましたが、当初予定していた芝張替工事に伴い、競技場が次のとおり変更となりましたのでお知らせいたします。

**第六回神奈川県障害者スポーツ大会
FD競技会場の変更について**



平成24年度 肢体部会社会見学



毎年恒例の社会見学が、三月六日の代議員会において、次のとおり決まりました。今年度は岩手県にある世界文化遺産『平泉中尊寺』をメインとした内容で企画されています。初日は、塩釜港から松島遊覧船に乗船して松島港まで行き、日本三景松島の大観荘に宿泊します。今回もリフトバス三台で各地域を発する予定です。皆さんの参加をお待ちしております。



《車椅子でも乗船できる遊覧船》

- ◆期日 平成二十四年六月二十六日(火)～二十七日(水)
- ◆日程 各地↓松島遊覧船に乗船↓ホテル
- ◆《二日目》 ホテル↓中尊寺参拝↓各地参加費 二四、八〇〇円
- ◆なお、バスの乗車場所等詳細は、参加申込締切後に決定いたします。詳しくは各市町村身障団体へお問い合わせください。

障害者スポーツ教室開催日程

平成二十四年度のスポーツ教室を次のとおり開催いたします。参加申込等に関する問合せは、推進センター事務局までお願いいたします。



- 四月十五日(日) 県立体育センター陸上競技場 陸上競技
- 四月二十二日(日) 県立体育センタースポーツアリーナ 陸上競技
- 四月二十二日(日) 卓球・フライングディスク競技
- 六月十七日(日) 県立体育センター屋内プール 水泳競技
- 九月一日(土) 西湘地区体育センター体育館 ニュースポーツ
- 九月二十三日(日) 横須賀市立総合体育会館 ニュースポーツ
- 平成二十五年三月十七日(日) 県立体育センター陸上競技場 陸上競技

【推進センター事務局】

TEL 〇四五―三二―一八七四四
 FAX 〇四五―三一六―六八六〇

さんぼみち

相模原市緑区は自然に恵まれた、とても住みやすい町です。私の住んでいる大島地区は、相模川上流部に位置し、年間を通して多くの市民が清流の河川敷を散策に来ます。盆地を囲む緑の山々、三月には土手いっぱい芝ざくらが咲き、下旬には川岸に桜のトンネル、そこに公園もあり、散策できる原生林が残されていて、自然が持つ癒しのパワーに包まれ、全身がリフレッシュされていく感覚を実感できます。また、近くに相模川自然の村公園があり、園内に江戸時代の茅葺寄棟造りの古民家があり、七月に市の人と私達で七夕を飾ります。見学に来た人も短冊に願い事を書いて飾る事もできます。



橋下で八月中旬に「小倉橋灯ろう流し」が、故人の供養、願い事などさまざまな思いを込めて放流します。灯ろうが流れる様子は幻想的で、相模川の夏の新たな風物詩となっています。自然豊かな大島に住み、日々の生活の中で、これからも四季を大切に守り育てていきます。

相模原市 小島千鶴子



みんなの広場

『笑えるけど』

本当だと思つた話

最近こんな記事を目にしました。「高齢になると『キョウイク』と『キョウヨウ』が大事」と、ある人が言いました。そして「そうだそうだ。『教育』と『教養』はいくつになつても大事だ。頭を働かせたら老化防止になるとテレビでも言つたから」と、他の人が言つたそうです。「それも大事だけど、私が言つているは別の『キョウイク』と『キョウヨウ』」「別のつてなあに?」「『今日行く(キョウイク)』と『キョウヨウ』が『今日用(キョウヨウ)』事があること大事なこと」それが大爆笑。そして皆うなずいたそうです。その人は趣味のハイモニカで障害者施設などを毎日のように回っているそうです。

私は歳を重ねたことと今年の冬の寒さで、家に居ることが多

くなってきました。でも「今日のはこれをやらなくては」とか「明日はあれをして楽しもう」「あの日はあそこに行こう」と、なるべく決めて、流れるように過ぎていく一日一日を大切に過ごしていきたいと、これを読み思いました。

皆さんもどうぞお元気で「キョウイク」「キョウヨウ」の充実の日々を…。

南足柄市 加藤 弘美



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

県身連事業予定

- <4月>**
 1日(日) 県身体障害者ボウリング大会
 (湘南とうきゅうボウル)
 8日(日) 県障害者スポーツ大会[ボウリング]
 (湘南とうきゅうボウル)
 8日(日) 県障害者スポーツ大会[アーチェリー]
 (県総合リハビリテーションセンター)
 15日(日) 県障害者スポーツ教室[陸上]
 (県立体育センター)
 22日(日) 視力部会女性部総会
 (綾瀬市)
 22日(日) 視力部会三療部総会
 (平塚市)
 22日(日) 県障害者スポーツ教室[卓球・FD]
 (県立体育センター)
 26日(木) 肢体部会監事監査
 (県社会福祉会館)
- <5月>**
 6日(日) 視力部会総会
 (座間市総合福祉センター)
 13日(日) 県障害者スポーツ大会[陸上] (知的)
 (県立体育センター)
 15日(火) 肢体部会代議員会
 (県社会福祉会館)
 17日(木) 第57回日本身体障害者福祉大会
 ~18日(金) (埼玉県)
 20日(日) 県障害者スポーツ大会[陸上] (身体)
 (県立体育センター)
 23日(水) 視力部会女性部研修会
 (秦野市)
 下旬 県身連理事会・評議員会
 (県社会福祉会館)
- <6月>**
 7日(木) 日盲連全国盲人福祉大会
 ~9日(土) (千葉県)
 10日(日) 県障害者スポーツ大会[卓球・STT]
 (県立体育センター)
 14日(木) 日身連関係春季団体長会議
 ~15日(金) (千葉県)
 15日(金) 肢体部会女性部教養講座・部長会議
 ~16日(土) (伊豆潮風館)
 17日(日) 県障害者スポーツ教室[水泳]
 (県立体育センター)
 24日(日) 県障害者スポーツ大会[FD]
 (県立体育センター)
 26日(火) 肢体部会社会見学
 ~27日(水) (宮城県)
- <7月>**
 1日(日) 県障害者スポーツ大会[水泳]
 (さがみはらグリーンプール)
 1日(日) 県視覚障害者福祉大会
 (厚木市)
 12日(木) 身体障害者富士登山
 (富士山5~7合目)
 27日(金) 日身連関東ブロック相談員研修会
 (静岡県)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
 045-311-8744
 [推進センター]
 FAX：045-316-6860
http://www32.ocn.ne.jp/~kanagawa_sinsho



てひひ
 手を引かれ 蟬にも送られ 山下る
 あきここ 小魚に触れて 川遊び
 横須賀市 倉 禎一

ふるまじ
 故郷の山影映す丸い月
 さとやま 山影映す丸い月
 ゆうひ 夕陽に染まる 赤蛉
 あかきほ
 厚木市 滝ヶ崎一雄

【俳句】

【川柳】



ゆひひ
 夕日いま 枯木も燃やす 見事なり
 ゆき 雪になる 気配の風が 戸をたたく
 厚木市 原田 秀子

しん
 信じてた 原発神話 苦勞種
 せつてん 節電と 思わぬ暮らし 昭和より
 鎌倉市 熊谷 ウメ

せつてん
 節電で 浪費と人の 痛み知る
 げんぱつ 原発を 無くそうあらゆる 手を尽くし
 横須賀市 倉 禎一

ひさいち
 被災地の 復興目指す 底力に
 エールを送ろう 募金と共に
 横須賀市 倉 禎一

こども
 子供たちの 福祉授業に 招かれし
 はす 弾む声と手に 元気を貰う
 厚木市 小田長明乃

あなただ
 もしもしの 貴女の声が 解ります
 はす 弾むリズムは お元気ですね
 厚木市 小田長明乃

【短歌】

編集室から

今年の冬は例年に

ない大雪となり、全

国各地では雪の事故、被害が毎

日のようにニュースで流れてい

ましたが、最近ではニュースの時

間も雪の被害が流れなくなり、

春が近いのかなと感じられるよ

うになりました。

雪国の人たちは毎日の雪の片

付けに疲労困憊の日々だったの

ではと思います。

梅の花も咲き、春はもうすぐ

ですね。東京スカイツリーも世

界一高い自立式電波塔として完

成しました。開業は五月二十二

日で、予約者しか入場できない

ようですが、予約しなくても入

場出来るようになったら、会員

の皆さんと一度は行ってみたい

と思っています。

編集委員 田畑ふみ子(海老名市)

